

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3890300035		
法人名	社会福祉法人 正和会		
事業所名	グループホームやすらぎ		
所在地	宇和島市蛤95番地3 (電話) 0895-22-6655		
管理者	清家 俊尚		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年10月6日	評価確定日	平成20年10月30日

【情報提供票より】 (平成20年8月31日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成19年9月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	6人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.1人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月31日現在)			
利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	3名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84.6歳	最低 78歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>共用空間から海も眺められ、テラスの周りには島のシンボルフラワー(アンデスの乙女)の黄色い花が咲き、利用者の目を楽しませてくれている。 入居前、管理者は、ご本人を訪ね、ご家族にもご自宅での暮らしぶりを聞き取っておられる。又、見学にも来ていただき、環境が気に入って入居される方も多い。併設のデイサービス利用者への入居もある。ご自宅に戻りたいと言われる方は、ご家族が事業所に泊まられたり、ご自宅で数日過ごすこともある。 地域の方が、介護保険の申請等について相談にも来られることもある。又、ご家族来訪の際には、港まで送迎されている。リハビリを事業所内で受けられるようになっている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> この一年間、開設前から職員の研修に力を入れて来られ、地域との関係作りにも積極的に取り組んで来られた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理者が職員に聞き取りながら、自己評価を作成された。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議時、事業所の活動報告を行い、地域の行事等も教えていただいている。ご家族からの意見や苦情を報告し、意見を出していただくようにされている。地域の方の提案でテラスに屋根を付けられ、雨の日等でも使用できるようになった。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご家族来訪時には、日々の暮らしぶりを報告されている。又、事業所へ来るのが難しいご家族宅には、職員が訪問して様子を伝えるようにされている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所は、道路に面した場所に、地域の方と交流できるようなテラスを設けておられ、散歩をされる地域の方達の休憩場所にもなっている。併設デイサービスと合同で行った敬老会には、地域の方が踊り等を披露してくださり、近所の方も見に来られた。地域のお年寄りが、事業所の畑の世話をしてくださっており、収穫したジャガイモを使ってカレーを作り、一緒に食事をされたこともある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームやすらぎ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 清家 俊尚

評価完了日

平成 20年 9月 24日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			法人理念に基づいた事業所独自の介護目標を作成している。		
			(外部評価)		
			「笑顔と真心でやすらぎを」という法人理念のもとに、地域の方にも気軽に立ち寄っていただける事業所を目指して、取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			法人理念に基づいた事業所独自の介護目標を全職員で協議の上作成したため、理念の共有はできている。		定期的に理念や介護目標に基づいたケアの実践が行えているかを振り返る機会を作っていきたい。
			(外部評価)		
			法人理念をもとに職員で話し合い、利用者の声を聞きながら介護目標を作成された。		さらに、全職員で理念を共有し、日々実践できるような仕組み作りが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			法人理念及び事業所の介護目標を施設内に掲示すると共に、家族や地域の人々へ説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員全体が地域の一員としての自覚があり、地域の方への日々の挨拶や隣近所との付き合いを大切にしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 事業所として自治会へ加入しており、自治会との連携が取れている。また、できる限り、地域活動への参加にも努めている。 (外部評価) 事業所は、道路に面した場所に、地域の方と交流できるようなテラスを設けておられ、散歩をされる地域の方達の休憩場所にもなっている。併設デイサービスと合同で行った敬老会には、地域の方が踊り等を披露してくださり、近所の方も見に来られた。地域のお年寄りが、事業所の畑の世話をしてくださっており、収穫したジャガイモを使ってカレーを作り、一緒に食事をされたこともある。		今後、事業所便りを作成し、事業所の取組みをさらに知っていただけるよう、配布したいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 開設して間もない施設ということもあり、今後の課題である。		地域の方を対象にした介護予防教室や認知症の理解を促す啓発活動を地域の中で行っていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員全体の意識がまだまだ低い。 (外部評価) 管理者が職員に聞き取りながら、自己評価を作成された。この一年間、開設前から職員の研修に力を入れて来られ、地域との関係作りにも積極的に取り組んで来られた。		今回の評価をきっかけにして、職員全体の意識を高めていきたい。 さらに、今回の評価実施を機会に、自己・外部・家族評価結果等を活用し、ケアの質の向上に向けて、取り組みを進めていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			定期的な運営推進会議の開催により、事業所の取り組みや利用者の生活状況を地域の人々へ報告する機会が持て、地域からの事業所に対する要望等も聞くことができ、サービスの向上につながっている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の活動報告を行い、地域の行事等も教えていただいている。ご家族からの意見や苦情を報告し、意見を出していただくようにされている。地域の方の提案でテラスに屋根を付けられ、雨の日等でも使用できるようになった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市と圏内のグループホームが共同でグループホーム連絡会を立ち上げており、定期的な交流の機会もあり、相談にも乗っていただいている。		
			(外部評価)		
			利用者の入居に当たり、ご事情等について相談しながらすすめておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			職員全体として、まだまだ意識が低い。		外部研修へ参加し、意識を高めていきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			法人全体として、高齢者虐待防止に関する意識は高く、研修の機会もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用契約前に、本人及び家族等と十分な話し合いを持ち、説明を行い、双方納得の上で、契約をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々の利用者の声を大切にすると共に、運営推進会議を活用し、利用者が自由に意見が言える雰囲気作りに努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時や家族宅への訪問等により、適宜報告している。		定期的に家族へ向けたホーム便りを発行したい。
			(外部評価) ご家族来訪時には、日々の暮らしぶり等を報告されている。又、事業所へ来ることが難しいご家族宅には、職員が訪問して様子を伝えるようにされている。		利用者個々に、事業所での様子を写真や手紙でお知らせしたり、ご本人がご家族へお手紙を書くことも検討されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等からの意見や苦情へは、即座に対応し、運営推進会議に報告し、意見を求めるようにしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご意見をいただけるよう働きかけておられる。いただいたご意見を職員会で話し合い、対応されている。		島にある事業所で、地域の方の利用が殆どであり、ご家族等にも事業所が「良くなってほしい」という思いが強くなる。事業所のさらなる質の向上に向けて、利用する立場からのご意見を引き出せるよう、働きかけや機会作り等、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的な会議の開催により、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況に合わせた勤務の調整をしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員同士のコミュニケーションを十分に図り、問題等の早期発見に努め、利用者への影響を最小限にできるように努めている。 (外部評価) 開設時から職員の異動や離職も少なく、この一年間、利用者が増えていくことに合わせて、個々との関係作りをすすめておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修への参加の機会をできるだけ多く持つと共に、自己啓発につながる支援をしている。 (外部評価) 開設前には、法人の介護施設で実習等、新人研修が行われた。職員は県GH協議会の職員研修等にも参加し、勉強されている。		事業所では、外部研修で得た情報を事業所内でも周知できるような仕組みを、作っていきたいと考えておられる。又、今後、認知症の理解をさらに深め、センサー方式の利用等についても、勉強を重ねていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			圏域のグループホーム連絡会や愛媛県のグループホーム協会を通じて、他事業所との交流の機会を持ち、研修等へは、全職員が交代で参加できるようにしている。		
			(外部評価)		
			市内のグループホーム連絡会の意見交換を通じて、便りや運営推進会議のすすめ方、地域とのかかわり方等についても、事業所の質の向上につなげていけるよう取り組まれている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の仕事ぶりに目を配り、問題等の早期発見に努めると共に、家庭での役割等が疎かにならないように、希望休はできるだけ受けている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の特性や得手不得手を把握し、状況に応じた役割を持ってもらうと共に、現状に満足することなく、常に向上心を持って成長していけるように自己啓発を促している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用相談があれば、利用者に会いに行き、本人の状態や置かれている環境の把握に努め、本人の意向や気持ちを把握できるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用相談の際に、本人の状況や家族の状況を把握し、家族の意向や気持ちを傾聴し、不安が解消できるように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用相談時に、本人や家族の状況を把握した上で、当事業所を利用するより、最善の方法があれば、紹介等している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) できるだけ、利用前に本人及び家族等に来所してもらい、施設見学をもらった上で利用を考えていただくようにしている。 (外部評価) 入居前、管理者は、ご本人を訪ね、ご家族にもご自宅での暮らしぶりを聞き取っておられる。又、見学にも来ていただき、環境が気に入って入居される方も多し。併設のデイサービス利用者の入居もある。ご自宅に戻りたいと言われる方は、ご家族が事業所に泊まられたり、ご自宅で数日過ごすこともある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は、利用者と共に過ごし、一緒になって楽しみながら生活するようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者に畑の作り方や花の名前を教えてもらったり、魚をさばいてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族との関係作りを大切に考え、家族とのコミュニケーションを積極的に図ると共に、利用者と家族が一緒に過ごす時間も大切にしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者のことだけでなく、家族の状況等の把握にも努め、お互いの状況を理解した上で、接するようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の友人等の面会時には、気兼ねなく過ごしていただけるように努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係の把握に努め、状況に応じた場面設定を行っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用終了後の生活を共に考え、今後も協力を惜しまないことを伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			表面的な意向や希望には、応えているが、内在する意向や希望の把握はまだできていないと思う。		一人一人の利用者ともっと向き合い、信頼関係を築き、内在する意向や希望が聴けるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			利用者が発する言葉等から、個々の思いの把握に努めておられる。		事業所では、個別支援に力を入れていきたいと考えておられる。さらに、ご家族が求める「笑顔が見られるようなサービス」に向けても、利用者一人ひとりの思いや意向を引き出せるよう、場面作りの工夫を重ねていかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			事前面談にて、可能な限りの情報収集はしているが、利用後の本人や家族等からの情報収集が不十分である。		利用後の本人や家族等からの情報収集を職員は意識して行い、収集した情報を集約する方法を検討していきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者の生活リズムを把握し、利用者の持っている力の把握に努めている。		
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人及び家族の意向を確認し、職員内のサービス担当者会議にて、検討した上で介護計画を作成している。		サービス担当者会議に本人や家族等の参加できるように検討していきたい。
			(外部評価)		
			事業所では「利用者一人ひとりに合ったこと」「できる事、」「できそうな事」に焦点を当てて、介護計画を作成しておられる。ご家族に計画内容を説明し、意見をうかがっておられる。		今後、ご本人やご家族にも介護計画の作成にかかわっていただき、意見を採り入れながら作成できるよう、すすめていきたいと考えておられる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月に1回、介護計画の見直しを行っている。期間内に大幅な介護計画の見直しが必要になったケースは今のところはない。		
			(外部評価)		
			介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行うようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護経過記録及び日誌、引継ぎ等にて情報の共有を図っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族等の意向や希望には、できる限り応えるようにしている。		
			(外部評価)		
			地域の方が、介護保険の申請等について相談に来られることもある。又、ご家族来訪の際には、港まで送迎されている。リハビリを事業所内で受けられるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察の見回りやボランティアの慰問等の協力を得ている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) サービス終了予定の利用者が自宅へ帰られる場合等は、担当ケアマネジャーや他事業所との話し合いを行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターと協働で、虐待事例や成年後見制度の活用事例の相談を受けた。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用前のかかりつけ医との関係を大切にしており、利用後も関係の継続に努めており、定期受診及び臨時受診等は必要時行えている。 (外部評価) ご家族とともに病院受診に同行されている。今年、4月より、島の診療所に医師が常駐するようになり、連携して支援されている。緊急時には、地元の消防団の協力を得て、船で島外の病院へ搬送してもらえるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の専門医による定期的な診察及び必要時の診察を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 担当看護師の定期訪問も受け、かかりつけ医療機関の看護師にも相談に乗ってもらいながら、健康管理が行えている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院した際は、医療機関に適切な情報提供を行うと共に、適宜の訪問することで、病院関係者との情報交換を行い、退院がスムーズに行えるよう努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 今まで該当者がいないため十分な話し合いはしていないが、重度化した場合の指針については整備し、家族への説明は行っている。		今後終末期を迎える利用者が出た際に備え、職員の知識や技術の向上に努める必要がある。
			(外部評価) 事業所の看取りの指針に基づき、ご家族に説明をされている。		さらに、重度化した時の対応や終末期のあり方等、ご本人ご家族の意向をお聞きするような機会も作ってはどうか。又、事業所内でも体制作りについて話し合われてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合の指針については整備し、家族への説明は行っているが、事業所としてできることの見極めは不十分である。		早い段階から、家族やかかりつけ医と終末期の対応について検討しておく必要がある。また、事業所としての力量を上げていく必要もあり、職員全体の底上げができるよう研修や勉強会に参加していきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者のなじみの人や物の把握が不十分である。		利用者や家族等と信頼関係を築きながら、情報収集を行い、利用者のなじみの人や物等を把握していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人情報の取扱いについては、職員への周知はできている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>利用者の自己決定を基本にしているが、職員にゆとりがない時に、職員のペースになることがある。</p>		<p>どのような状況にあっても、利用者本位の姿勢を崩さないように、決定権は常に利用者にあるということを再度周知徹底していく。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的な1日の生活の流れはあるが、利用者の希望や状況に合わせて臨機応変に対応している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>晩酌をされる方や、時には、魚釣りを楽しまれる方もある。</p>		<p>現在、利用者は居室で過ごされる時間が長いようである。事業所では個別で細やかな支援を目指しておられ、今後も利用者個々が「どのように暮らしたいか」という思いや意向を探り、個別の支援につなげていけることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 地域に理美容室がないため、散髪については、地域の理容師にボランティアで来ていただいている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 通常の食事については職員が作っているが、行事等の際には、利用者にもできることをしてもらっている。 (外部評価) 島の商店等の事情もあり、現在は、外部で調理された食事が配達されており、利用者が食事にかかわることは少なめである。畑で収穫した野菜や釣れた魚を調理されたり、手作りのおやつを楽しまれている。		さらに、食べることを楽しみにされている利用者も多いとのことであり、「食事を楽しむ」という点から利用者が食事にかかわる機会を増やされたり、好み等、利用者やご家族の意見を聞き反映できるよう、取り組んでいかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の希望に応じて、お酒やおやつ等は準備して提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人一人の排泄状況を把握し、その人にあった支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者一人一人の意向は確認しているが、時間帯の設定はしている。		
			(外部評価)		
			現在は、午前中に入浴するようになっている。一番風呂を好まれる方も多く、順番等も配慮されている。		さらに、この機会に利用者個々の入浴の習慣や好み等も、詳しく探ってみてはどうだろうか。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の状況に合わせて畳を準備したり、安心して休んでいただくよう心がけている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者の役割が少ないように感じる。		利用者一人一人の得手不得手に合わせて、日常の中での役割を見出していきたい。
			(外部評価)		
			体操の時間を設けておられる。新聞や雑誌を共用空間に置いておられ、テレビドラマを楽しみにされている方もおられる。		さらに、利用者個々の生活歴等を深く探り、個々の役割や楽しみ事等、事業所の生活の中で見つけていかれてほしい。利用者個々の事業所内での居場所作りを、すすめていかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者の状況や希望に合わせて、お金を自身で管理してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の外出希望も少なく、目的がなければ事業所内で過ごす時間が多い。		利用者の希望を何気ない会話の中から、見出し実現できるように支援していく。
			(外部評価)		
			調査訪問時、事業所のテラスで、デイサービスに通って来られる方達と午後のひと時を過ごしておられた。散歩や季節ごとに花見に出かけておられる。		利用者が外出したくなるような雰囲気作り等にも、取組まれてほしい。個々が行きたいところに行けるような支援等も、工夫されてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節ごとに行事を企画し、花見等で外出する機会を作っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望があれば対応している。		職員側からの働きかけを行い、機会を増やしたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			利用者の家族や知人の面会時には、気兼ねなくゆっくりしていただくようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の禁止について、研修も受けており、意識付けができています。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、玄関の鍵はかけていない。 (外部評価) 玄関には鍵をかけておられない。又、居室から外に出られるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 安全面及びプライバシーに配慮しながら、自由に過ごしてもらっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 可能な限り、利用者に保管してもらっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の利用者のリスクを把握し、事故防止に取り組んでいる。防災訓練も消防団、消防署を交えて行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 研修は受けているが、定期的には訓練を受けていない。		定期的に全職員が、応急手当等の訓練を受けれるようにしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急事態には、マニュアルを作成しており、消防団の協力を得られるようにしている。また、地元の職員がすぐにかかけられるように連絡網を作成している。 (外部評価) 消防署の協力を得て、併設のデイサービスとともに、昼間を想定した火災時の避難訓練を実施された。消防署の方に、火災発生時の連絡の取り方についてのアドバイスをいただいた。		次回は、夜間の火災を想定しての訓練を行う予定となっていた。今後、地震、津波に対しての訓練も順次行いたいと計画されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 利用時及びリスクが高くなった段階で、家族へ起こりうるリスクと対応について説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的なバイタル測定の実施により、利用者の変化に気付くことができ、情報の共有ができています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の作用、副作用、用法や用量については、変更があるたびに、全スタッフに伝わるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘時は緩下剤や下剤にて対応していることが多い。		便秘時は下剤等にすぐに頼るのではなく、原因を考え、水分補給や適度な運動で改善される可能性も考えるようにしていく。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 誤嚥による肺炎リスク等口腔ケアによる健康維持の重要性を理解しており、口腔ケアの実践ができています。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人一人の食事及び水分摂取量の把握ができています。 (外部評価) 利用者によっては、ご飯を食べやすくおにぎりにされていた。お風呂上りに水分補給できるよう、すすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザ予防接種、ノロウイルスの予防も行っている。		感染症対策のマニュアルはあるが、まん延防止のマニュアルが不十分なため、訂正する必要がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理は充分行えている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関横にテラスを設置しており、散歩する地域の方と利用者の交流スペースになっている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日中は、外の景色が見られるように配慮しており、季節ごとの花を飾るなど季節感を感じられるようにしている。 (外部評価) 共用空間から海も眺められ、テラスの周りには島のシンボルフラワー（アンデスの乙女）の黄色い花が咲き、利用者の目を楽しませてくれている。		居間の環境作りについて、利用者の立場に立って、居心地の良さという点から工夫を重ねていかれてほしい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールのスペースを活用し、気の合った利用者同士が過ごせるように工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			できる限り本人の使い慣れた物等を持参してもらうようお願いしているが、まだまだ少ない。		
			(外部評価)		
			お部屋に畳を敷き、布団で休まれている方もおられる。自宅から持ってこられた、壁掛け時計や手作りのゴミ箱を使っておられた。		利用者は、居室で過ごされる時間が長く、居室内でも居心地よく過ごせるような環境作りの工夫が期待される。個々の好みやご自宅での暮らしぶり等も探り、工夫を重ねていかれることが期待される。又、直接、道路へ出られるようになっている居室もあり、安全面という点からの配慮も検討されてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			小まめな空調の管理や、定期的な換気が行えており、汚物の処理も適切に行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物の中の移動が可能な限り、本人に合った移動ができるように考えている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			失敗や事故を恐れるあまり、自立支援が不十分である。		リスク管理をしながら、利用者の自立支援につながるケアが実践できるように検討していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ホーム菜園での野菜等の収穫や花の観賞を楽しめるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者自身の思いや願いを充分伝えられない方の意向は、充分把握できていない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	間食の時間帯は、利用者職員と一緒にゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	基本的には利用者一人一人の生活リズムになっているが、自分の思いを充分伝えられない利用者については、職員の判断による生活リズムになっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が笑顔で関わることで利用者の笑顔につながっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の外出に対する意欲が低く、用事以外で外出することが少ない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的なバイタルチェックと日々の状態観察やかかりつけ医への定期受診及び必要時の受診等で健康管理は行えている。異常の早期発見、早期対応に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望には、基本的に対応しているが、要望をしない利用者の意向については、充分把握できていない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時等の家族とのコミュニケーションを大切にしており、信頼関係が徐々にできている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族や地域の知人の方々がよく面会に来ていただいている。

